

「ケアマネさんがサポート してくれました」

～長期の在宅ケア～

Bさん
例

在宅でのケアを希望する場合は…
各市町の地域包括支援センターやケアマネ
ジャー、病院の相談室等に相談しましょう。

1 脳こうそくで右半身が不自由にな
ったBさん。長期のリハビリ入
院をしていました。



2 これまで仕事をしていた娘さん
が定年退職となり、Bさんのもと
を訪ねました。



3 娘さんはケアマネジャーに連絡
をとり、病院まで来てもらいま
した。



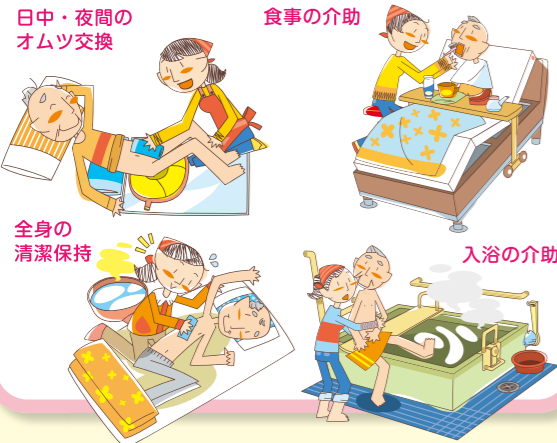
4 Bさんは自宅に帰ることができ、ヘル
パーや訪問看護師から、必要な介護
を受けられるようになりました。



家での介護は 大変じゃないの？

家での介護はほとんどの人が初心者。すべてを背負いこまなくても、多くの介護はヘルパーや訪問看護師がカバーしてくれます。ケアマネジャーと相談して、家庭の状況に合ったサービスを組み合わせてもらいましょう。

【主な在宅の介護サービス】



Bさんの在宅での サポート体制

日常の介護ケア



ヘルパー ケアマネジャー 訪問看護師

ヘルパーや訪問看護師が、身のまわりのお手伝いや日々の健康状態をチェックして、普段の生活をサポートしてくれています。

また、ケアマネジャーや在宅主治医とも日常の様子を情報交換して、症状にあったケアが行われるよう配慮してくれています。

自宅での治療



医師 訪問看護師 薬剤師 リハビリスタッフ

医師や訪問看護師が定期的に訪問して、血圧や問診により状態を確認してくれています。

また、薬剤師や理学療法士、作業療法士といった専門のスタッフとも連携して、自宅でより良い医療が受けられるようサポートしてくれています。

介護用品やバリアフリーはどうする？

介護保険を利用して、ベッドや吸引器、ポータブルトイレなどの介護用品をレンタルしたり、バリアフリー改修などの助成を受けることもできます。

デイサービス、ショートステイ

日中に通うデイサービスや、数日間泊まりでサービスを受けるショートステイを利用することで、介護を行う家族の負担軽減を図ることができます。

連携

